

第15回「米産業懇話会」のご案内

秋麗の候、皆様方におかれては、益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。

「米産業懇話会」は、我が国の水田農業・米産業の持続的な発展の課題について、様々な立場と多様な意見をもつ有識者、業界関係者の参加による自由な議論の場です。

第15回は「農業・農村の持続的な発展と多様な担い手」の演題で堀部 篤氏（東京農業大学国際食料情報学部教授）に報告をお願いしました。

すでにご案内をいたしましたが、令和の米騒動と米価の高騰等の米流通の混乱が生じており、それに関する情報と米産業・水田農業に与える影響も合わせて議論したいと考えます。

農業労働力の高齢化、農地の減少等に直面し農地流動化(離農促進)と農地集積(規模拡大)が推進され、現状の経営面積、農業所得水準によって政策目標の担い手が決まっています。その担い手に対して補助金の施策が集中しています。しかし、担い手を固定的にとらえる手法は必ずしも農業・農村の持続的な発展につながりません。

堀部氏の報告は、実態調査と統計分析にもとづいて、まず、後継者の有無が経営の持続性と発展に影響しており、やや小規模、中規模経営(兼業農家を含む)も後継者の存在により経営面積を変動させ、担い手が入り替わることを実証し、その視点からの政策転換が必要なことを提起します。

報告は、水田農業を中心とする農業・農村の持続的な発展に示唆を与える内容と期待されます。併せて、令和の米騒動と流通混乱の現状と米産業・水田農業への影響について情報を提供します。

時節柄、ご多忙のこととは思いますが、是非、多くの方々のご参加をお待ちしております

報告 「農業・農村の持続的な発展と多様な担い手」

東京農業大学国際食料情報学部教授
堀部 篤 氏

補足報告 ①各産地動向 ②米価格高騰と流通及び産地への影響

ジャーナリスト・農政調査委員会事務局

1. 日時：令和6年11月7日（木） 13時00分～15時00分
2. 場所：日本農業研究所会議室（1階）
〒102-0094 千代田区紀尾井町3番29号
3. 定員：先着50名（会場参加・リモート参加も可）
4. 資料代：2,000円
なお、米先物取引情報交換会参加者は無料
5. 申込先：<https://forms.gle/pt7vFSjZAUtgnxrL8>
(QRコードからもアクセスできます)

E-mail: info@apcagri.or.jp（竹井、吉田）
Tel: 03-5213-4330 Fax: 03-5213-4331

